

令和2年度 市長と語る会

全日本年金者組合瑞浪支部
新日本婦人の会瑞浪支部

開催日時 令和2年12月22日 10:30～12:00

開催場所 瑞浪市役所 2階大会議室

瑞浪市企画政策課

タイトル	全日本年金者組合瑞浪支部①	
ご意見の内容		
<p>多くの市民が慣れ親しんだ東濃厚生病院が、なくなる事には反対です。医療、福祉の市政はどんな施策を実施しますか。</p>		
市長の回答	担当課	健康づくり課
<p>現在、瑞浪市の医療提供の核となる、医師や医療スタッフの確保が難しくなっています。それに伴い、病院の経営が成り立たなくなっており、市民の皆様の貴重な一般財源から補填をされて、維持されているという状況です。</p> <p>土岐市の総合病院の現状をみると医師は以前の半数以下、病室の利用も3割程度となっており、数年後の東濃厚生病院の姿かもしれないという危機感を持ちました。市民の皆様への医療提供体制をこれからも確保していくためには、やはり病院の統合をさせていただくことが必要ではないかと考えました。病院の建設位置も、土岐市の東部、瑞浪寄りの場所に市有の土地がありましたので、そこを活用させていただいて、そこに新病院をつくってはどうかということで、審議会でご意見をいただいております。</p> <p>東濃厚生病院の施設は、厚生連が土地建物を持ってみえる民間の施設ですので、クリニック機能や診療機能は、新病院ができて残してほしい、空いている施設に関しては、介護や医療、福祉関係の施設として、初期の治療は十分していただけるような機能を残していただくという条件は出させていただいております。そこで対応ができない、重篤になった場合は、新病院へ行っていただくというようなイメージでありますので、次の私の課題としましては、1次病院をどう確保していくかということであり、この問題は、新病院をつくることと同じぐらい大切ですので、どうかご理解をいただきたいと思っております。</p> <p>我々は5年後、10年後、20年後の、両市の医療提供体制をイメージして、進めさせていただいております。</p>		

タイトル	全日本年金者組合瑞浪支部②	
ご意見の内容		
<p>75歳以上の医療費窓口負担を、2割に引き上げることが計画されていますが、私たちは反対です。年収200万円以上とする370万人の高齢者の医療費は2倍になります。診療抑制が起こり重篤な病気や手遅れになることが想定されます。前安倍政権の8年間に、年金は6.4%も減額されています。高齢者の苦しい生活実態から目をそらさないで、当事者の声に耳を傾けてください。政府・関係機関に2割への引き上げはやめて、1割の負担に据え置くよう働きかけてください。</p>		
市長の回答	担当課	保険年金課
<p>岐阜県で運営をしている、後期高齢者医療広域連合協議会の議員として私も参加をしております、後期高齢者医療広域連合協議会からも、これまでに厚生労働大臣に対して、75歳以上の医療費窓口負担の現状維持を、強く要望させていただいております。国が政策的に決定していく事項にはなりますが、我々も国の動きを注視しながら声を上げていきたいと思っております。</p>		

タイトル	全日本年金者組合瑞浪支部③		
ご意見の内容			
<p>独居老人に対する配食サービスが週1回行われていますが、県下の実態を参考に改善してください。</p>			
市長の回答	担当課	高齢福祉課	
<p>県下でも週に数日の配食サービスの提供を行っている市もあり、配食サービスの充実拡大に向けて、検討していきたいと思いますので、少しお時間をいただきたいと 思います。</p>			

タイトル	全日本年金者組合瑞浪支部④		
ご意見の内容			
<p>特定検診、がん検診、インフルエンザの予防接種、歯周疾患検査などを、無料で実施してください。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>瑞浪市では、特定検診は40歳、そして胃がんの検診は50歳54歳58歳62歳、そして子宮頸がんは21歳、乳がんは41歳と、その年齢になられたときに、無料で検診できるということでご案内、ご利用していただいております。高齢者のインフルエンザの予防接種に関しては、自己負担1800円をいただいておりますが、生活保護受給者の方は無料で接種ができるようになっております。特定の年齢以外の検診や、高齢者の予防接種などは、誠に申し訳ありませんが、応分の負担として利用者の方に負担していただきたいと考えております。</p>			

タイトル	全日本年金者組合瑞浪支部⑤		
ご意見の内容			
<p>高齢に伴い難聴になる人が多くいます。難聴が生活様式を変え、家の中にこもるなどの変化となって、性格まで変わってしまったようだと家族が心配する例もあるようです。補聴器を付けることで、少しでも老後の暮らしが楽しく送られることを誰もが願います。補聴器は大変高額なので、補聴器購入の助成・補助制度を設けていただけませんか。県下では飛騨市が購入額の2分の1で限度額4万円を実施されています。飛騨市への問合せを行い、是非とも実施実現に向けてください。</p>			
市長の回答	担当課	高齢福祉課	
<p>飛騨市が始められたということですが、市としては、現時点では考えておりません。今後、他市町村の動きを見据えながら、考えていきたいと思えます。</p> <p>【高齢福祉課】</p> <p>瑞浪市では社会福祉課が窓口になっておりまして、そちらで補聴器の申請をしていただくことができます。これは、障害者手帳の6級以上の聴覚障害の方が申請をしていただけます。非課税世帯の場合、負担はございません。課税世帯の場合ですと1割負担で補聴器の購入をしていただけます。ただ、補聴器も指定業者等があるので、窓口でご確認をしていただきながら、申請の手続きについて、ご説明を受けていただきたいと思います。</p>			

タイトル	全日本年金者組合瑞浪支部⑥		
ご意見の内容			
<p>ゴミ出し支援の実態をお知らせください。さらに支援内容の充実をお願いします。また、どの程度の方が利用されていますか。</p>			
市長の回答	担当課	高齢福祉課	
<p>要支援者や要介護者の方につきましては、介護保険における訪問介護により、支援される場合があります。また、虚弱な高齢者の方は、社会福祉協議会のボランティア連絡協議会に登録をしている「ふくしお助け隊」にごみ出し支援を依頼することができます。市でも高齢者安心支え合い事業を実施しており、この事業を担う「ささエール会員」がごみ出し支援などの対応をすることもできます。</p> <p>全てを制度で担うにも人材の確保が必要でございますので、地域の助け合いで対応していただけるような仕組みを進めていきたいと思っております。</p> <p>【高齢福祉課】</p> <p>ボランティアの「ふくしお助け隊」は、社会福祉協議会の登録になっておりまして、年間のごみ出し等が何件あるかというところまでは把握しておりません。市の「ささエール会員」で把握しているのは年間に数件のごみ出しです。「ふくしお助け隊」の実績については社会福祉協議会に確認し後日回答させていただきます。</p>			
<p>「ふくしお助け隊への主な依頼」（令和2年12月時点）</p> <p>令和元年度：①ゴミ出し 20件、②電球の取り換え 4件、③その他 7件</p> <p>令和2年度：①ゴミ出し 12件、②片付け 6件、③その他 5件</p>			

タイトル	全日本年金者組合瑞浪支部⑦		
ご意見の内容			
<p>市内に設置してあるスピーカーから、認知症者の行方不明を知らせるアナウンスが流れます。今年に行方不明者は何件あったでしょうか。GPSの貸し出しや靴などに取り付けるための補助を実施していただけますか。</p>			
市長の回答	担当課	高齢福祉課	
<p>今年には防災行政無線で、行方不明者の捜索を行った件数は9件でした。現在、市ではGPSの貸し出しを行っております。利用者は現在1名です。ご家族の方がお勧めされて、ご本人に付けられるということだと思っておりますが、今後も高齢者や認知症の方の安全確保のために、ご家族の方と連携を取って、進めていきたいと思っております。</p> <p>また、警察等に事前にその方のお名前や写真、特徴を登録していただいて、お互いに情報を共有する中で、行方不明になったときに、早期の発見、保護が可能になる新しい事業を始めたいと思っております。</p>			

タイトル	全日本年金者組合瑞浪支部⑧		
ご意見の内容			
<p>新病院の建設費に対する両市の負担割合を教えてください。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>瑞浪市、土岐市、東濃厚生病院の3者で、費用負担の問題について協議をしてまいりました。</p> <p>新病院の建設費用の負担は、30年間に渡って、病院の建設債というお金を使わせていただいて払っていますが、新病院を建設しますと、40%を国からの地方交付税という形で賄うことができます。残りの60%の建設資金のうち、約48%を厚生連に、残りの約12%を両市で負担をするということでございます。また、人口割合を1つの基準とし、概ね土岐市が60%、そして瑞浪市が40%という負担割合になります。</p> <p>瑞浪市は毎年6000万円を東濃厚生病院に運営補助として出させていただいておりますが、この金額よりも新病院建設費用の負担が下回ると見込んでおります。また、県からの補助も期待できますので、さらに市の負担は減ると思われれます。建設資金におきましては、市民の皆様新たに大きな負担をお願いすることはありません。</p> <p>今後、病院を管理運営していく費用は、国から交付税をいただきますので、いただいた交付税を厚生連に指定管理料としてお支払いします。</p> <p>具体的な建設費等がいくらなのかは、1年後、1年半後ぐらいには明確になると思います。</p>			

タイトル	全日本年金者組合瑞浪支部⑨		
ご意見の内容			
<p>地域包括ケアシステムの計画を瑞浪市としてはどうしているのか。</p>			
市長の回答	担当課	高齢福祉課	
<p>瑞浪市では地域を二つに分けて、それぞれの地域で、末永く暮らしていただけるような体制を準備していますが、どちらかという地域の開業医と連携をとりながら、そういったシステムを構築していくということになります。今現在、医療や福祉、関係者において、そういったシステムができるように話し合いをしています。家庭生活に戻っていただくために、手術後のリハビリができる機能も新病院には用意したいと考えています。</p> <p>また、産婦人科や小児科が欲しいなど、様々なご要望をいただきながら、新病院の中に、厚生病院や土岐市の総合病院にない機能も見据えて、新病院の計画を立てていこうと思っております。</p> <p>病院には、急性期や回復期というベッドの種類がありますが、今後、新病院には、リハビリを行うことができるようなベッドを作っていくことも考えています。</p> <p>【高齢福祉課】</p> <p>ケアシステムというものは、医療と介護、生活支援、住まい、そして介護予防。このカテゴリーが、地域でお住まいの高齢者の方の周りにおいて、それぞれが連携し合って、高齢者の方が地域で、生き生きと末永く生活をしていただけるためのシステムです。ご自宅に戻られた際に治療の継続、生活など様々なご不安があるという場合は、地域の開業医等に、介護サービス認定を受けてみれば、介護サービスをご利用いただき、高齢者総合相談窓口である地域包括支援センターや市にご相談ください。</p>			

タイトル	新日本婦人の会瑞浪支部①		
ご意見の内容			
<p>学校給食に農薬を使わない地元の食材を使って下さい。健康に害があると言われて いる輸入食材は使わないでください。</p>			
市長の回答	担当課	給食センター	
<p>瑞浪市の学校給食センターは、地産地消を推進しており、地元で生産された食材を 優先して使用しています。それが難しい場合は県内で生産された食材の使用をして おります。しかし、季節によっては、県内でも希望する食材が手に入らない時期が ございますので、そうした場合は県外にもお願いし、それでも入手が難しい場合 は、海外のものを使用することもあります。農薬を全く使わない食材は生産量が少 なく、価格が高いということもございますので、学校給食でそれを中心に使い続け るということは難しい部分がございます。</p> <p>市内産の野菜は、JAの指導の下で、農薬の使用管理をして生産したものを使用さ せていただいていますし、市外、県外、海外から仕入れる食材に関しましては、農 薬の使用量が国の基準値以下の安全な食材を使用させていただいております。</p>			

タイトル	新日本婦人の会瑞浪支部②		
ご意見の内容			
<p>コミュニティバスを利用しやすくし、車に乗れなくても安心して住める街にしてください。また、家の近くまで来てもらえるようなデマンドタクシーを実現させていただきたい。</p>			
市長の回答	担当課	商工課	
<p>コミュニティバスは、毎年、各区長に意見集約をしていただいて、バスが通る時間や停留所に対してのご要望をいただきます。毎年7月から8月頃にご意見をいただいたものを、運営会社と協議し、次年度の運行計画を検討して、見直しを行っております。</p> <p>デマンドタクシーは、今以上に市民の方にPRをし、登録をして活用していただけるともっと便利な乗り合いタクシーにできると思っております。</p>			

タイトル	新日本婦人の会瑞浪支部③		
ご意見の内容			
<p>水道事業の民営化は大変危険です。公共事業として守ってください。</p>			
市長の回答	担当課	上下水道課	
<p>今後も水道事業は民営ではなく、市で運営をしていく予定になっておりますのでご安心いただきたいと思います。ただし、水道設備、下水道設備は老朽化に伴い、更新をしなくてはならない時期でもございますので、順次、耐震性の高い水道管に取り替える作業をさせていただいております。</p>			

タイトル	新日本婦人の会瑞浪支部④	
ご意見の内容		
<p>小・中学校を20人学級にして、先生の負担を軽減し、子供たちがのびのび学べるようにしてください。</p>		
市長の回答	担当課	学校教育課
<p>国の基準は1学級40人ですが、岐阜県独自の基準で小学1、2、3年生と中学1年生については、35人学級で対応させていただいております。仮に20人学級にした場合、21人の新生が入ると11人と10人で2クラスにしなければならなくなります。</p> <p>少人数学級では先生の目が届きやすく、きめ細かい対応や授業ができるかもしれませんが、子どもたちが切磋琢磨し、触れ合い、友達作りをするといった環境も必要ではないかと思えます。</p> <p>地域によっては小学校や中学校の統合の話も出てきており、先生方の意見をくみ取った上で、地域の方のご意見、ご要望を聞きながら市としても判断させていただきたいと考えております。</p>		

タイトル	新日本婦人の会瑞浪支部⑤		
ご意見の内容			
<p>原爆禁止条約を唯一の被爆国である日本が、一刻も早く批准するよう、市長が国に向けてメッセージを出す努力を期待しています。</p>			
市長の回答	担当課	企画政策課	
<p>この件につきましては、広島や長崎の市長が中心となって、市長会でも呼びかけをいただいております、協力させていただいております。</p> <p>瑞浪市の場合は超深地層研究所があり、そこに核廃棄物の処分場ができるのではないかと、多くの市民にご心配とご不安をおかけしておりました。市は、あくまでも研究を受け入れただけで処分場にはしませんし、令和2年3月にこの研究が終了しましたので更地にして市に返却していただくということで埋め戻しも進んでおります。</p>			

タイトル	新日本婦人の会瑞浪支部⑥	
ご意見の内容		
<p>市は少子化が進む中で、公共施設・サービスの削減計画を進めているようですが、始めから削減先行ではなく、市民の要望をくみ上げて高齢者にも若者にも魅力ある街づくりを進めて下さい。</p>		
市長の回答	担当課	企画政策課
<p>現在、市の公共施設は約160施設あり、昭和や平成初期に建築した施設の更新時期が到来しています。同規模で約160施設を維持していくためには、1100億円ほどの多額な予算が必要になってくるため、今後50年間で、行政機能を維持した統廃合などにより、公共施設の床面積を3割削減できないだろうかと考えております。大規模施設では、総合文化センターについては、雨漏りや耐震性の問題があり、瑞浪市の人口も減少している中、利用者の規模に見合った複合施設として様々な機能を搭載した建物に更新したいと考えております。公共施設の再編については、市民や地域の方、利用される方のご要望を把握、調査しながら施設の統廃合などを検討していきたいと思っております。</p>		

タイトル	新日本婦人の会瑞浪支部⑦	
ご意見の内容		
<p>戦時中に中国人や朝鮮人を、軍事施設を作るために強制労働させた歴史を、子供たちや市民に知らせ、アジア諸国と仲良くし日本が再び戦争をすることにならないよう平和学習を強めましょう。</p>		
市長の回答	担当課	学校教育課
<p>瑞浪市では、市内各地に戦没者の慰霊碑がございまして、今まではご遺族の方がその慰霊碑を維持してみえましたが、現在では戦争の未亡人といわれる当事者がお二人になられたそうです。我々は、戦争の歴史を風化させてはいけませんし、後世に引き継ぎ、慰霊碑を守り続けなければなりません。しかし、それをお守りするご家族、親族関係者の方が減ってきて、市から離れてしまい、なかなかお参りにも行けない状況ですので遺族会の方と協議をし、地域の区会長にも協力をいただきながら守っていくことになっております。</p> <p>私も毎年8月15日に慰霊碑の巡拝をさせていただいておりますが、今後も続けていきたいと思っております。</p> <p>瑞浪市は明世町の化石公園の中に中国人の殉難者の慰霊碑を奉らせていただいておりますが、これは関係者の方が維持してみえます。30数名の方が重労働や事故、病などで倒れて亡くなられたという過去がありますので、風化させず、地域の子どもたちにも社会見学などで見に来ていただきたく思います。</p>		

タイトル	新日本婦人の会瑞浪支部⑧		
ご意見の内容			
<p>病院の統合で、双方にあるベッド数を今後も確保できるのでしょうか。また、医師と看護師はある程度余裕をもって確保できますか。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>病院の現状をみると、市民の皆様の税金を投入して医師やスタッフが十分に確保できない赤字病院を続けるということは、やはり見直すべきではないかと思っております。ベッド数は東濃厚生病院に270あり、稼働率は約7割で、土岐市立総合病院は360あり、稼働率は統合の話が出る前で約5割です。平成28年に研究会を立ち上げ、今の規模が必要であるのかという研究もしました。それぞれを計算すると必要なベッド数は400弱であり、他市から患者を受け入れたとしても対応が可能であるという判断をさせていただきました。</p> <p>東濃厚生病院には、クリニック機能は残ります。ここでは機能は残しますが別途入院はできません。新病院建設後の東濃厚生病院にも診察機能は必ず残すということで、医師やスタッフを確保しなければなりません。東濃厚生病院の3、4、5、6階の病室は医療、介護、福祉の様々な施設に活用するというところで現在、計画を進めさせていただいております。</p> <p>医師の確保ですが、東濃厚生病院も土岐市立総合病院も名古屋大学や岐阜大学の医学部の医師を派遣していただいております。そのほかの大学からも来ていただいておりますが、基本的にはこの二つの大学から来ていただいております。新病院を作れば医師の供給をするといった約束もしていただいております。それぞれの大学の学長と連携する中で今後も強く要望しながら、維持をしたいと思っております。</p>			